

夢をえがこう 自分をえがこう 嶮山あったか ハーモニー

横浜市立嶮山小学校

TEL: 902-7161,7162

FAX: 904-4254

平成 29 年 1 月 31 日

嶮山小通信

2 月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代



冬に思う

副校長 栗飯原 桂子

もうすぐ立春。暦の上では春が近いですが、まだまだ寒さが続いています。

先日、朝 9 時ころ、昇降口脇の水道場の水道で水が出しっぱなしであふれそうになっており、上に向けられた蛇口からは噴水のように水が飛び出しているのを見つけました。誰かのいたずらかと気をもんだのですが、氷と太陽のいたずらだったことが分かりました。夜の間に蛇口の中に残っていた水が氷り、気温の上昇とともに勢いよく水が噴き出してきたのです。登校時には、上向きの蛇口だけでなく、下向きの蛇口からも「つらら」のように氷が顔を出しているのです。こんな興味深い現象に気付いたら、子どもなら尚更さわって確かめてみたくなるのは容易に想像できます。結局、蛇口は開けたままになってしまったのでした。氷や霜柱は昔も今も子どもを引きつけます。冬の自然の不思議をたくさん見つけてほしいと思います。

さて、先週から、第 37 回マラソン大会に向けて練習が始まりました。私は「嶮山小のマラソン大会って、すごい」と思っていることがあります。

- ① 嶮山小が創立 37 年ですから、開校の年から毎年行われている行事だということです。嶮山小の伝統として受け継がれてきた行事です。
- ② 校庭をぐるぐる回るのではなく、公園や緑道等を生かしたコースを走ることです。学校の周りの環境がとてもよいのです。
- ③ 事前にマラソン大会のための内科検診を行うことです。春の検診と同じように、校医さんによって、しっかりと体の状態をみていただいています。
- ④ 中休みのマラソン大会の練習に全校児童が参加（体調不良やカード忘れの人以外）し、みんなで走っていることです。
- ⑤ 中休みの練習には、たくさんの教員が校庭に出ていることです。子どもと一緒に走っている担任も少なからずいます。
- ⑥ 大会当日には、保護者のボランティアの方がパトロール用の黄色いビブスを着て、沿道で安全確認をしてくださることで。一般の通行人にも迷惑がかからないよう見ていてくれます。

中休みの練習を見ていると、まだ自分のペースがつかめず速さが一定でない子もいます。でも、一人一人が頬を赤くして走っている姿は感動的です。長距離を走ることは、自分との闘いです。このマラソン大会を通して「たくましい心」と「すこやかな体」が育まれることを願っています。

インフルエンザが猛威を振るい始めました。「うがい、手洗い、換気」は唱えているだけではだめで、日々の励行こそが大事です。あと少しの冬、健康に留意してお過ごしください。